



保育施設で初のウッドスタート 五感を育む学びの場

ひだまり保育園（社会福祉法人久仁会）は2017年7月の開設と同時に、ウッドスタートを宣言をした市内で唯一の保育施設です。園の理念に木育を掲げて、施設に木材を使い木のおもちゃを使った遊びを取り入れるなどしています。

※てんぐつみきの遊び方をリサーチするため、試験的に積み木を貸し出し遊んでもらっています

1.きれいに整列させよう2.どこまで高く積めるかな3.画用紙で作ったさまざまな大きさのてんぐに積み木をはめよう4.木のプールの人気5.ボウリングでてんぐを倒そう



園は木育のほか、食育や音育、自ら学ぶ力を育むヨコミネ式保育を理念としています。五感を十分に満たした共同生活を送りながら、子どもの視点を大事にして一緒に触れ合っていきたいと思っています。

子どものお気に入りは、積み上げたてんぐつみきを打って落とすだるま落とし、並べた積み木をボールで倒すボウリングです。仲良く協力してさまざまな遊びを考えている姿から、おもちゃを通して豊かな創造力が育まれていると感じています。家庭でもてんぐつみきで遊ぶといった子どももおり、木育が浸透しつつあるのは喜ばしいことです。

同園は0歳から5歳までの6クラスで、それぞれのクラスでてんぐつみきを使って遊んでもらっています。0歳は木になじむ、触れる、香りを楽しむといったことから始めて、年齢が上がるにつれて積む、並べるなどして楽しんでいます。



ひだまり保育園
園長 新木恵一さん

木との触れ合い
豊かな創造力を鍛えて